

一九九二年度 第六回運営委員会記録

日 時 一九九二年一〇月一九日

場 所 牛深市総合センター
出席者 我孫子麟、長谷川昭彦、大沼盛男、相川良彦、岩本由輝、
藤井勝（北原代理）、松田苑子、高橋明善、河村能夫、佐
藤康行、黒崎八洲次郎、安原茂、若林敬子、細谷昴、交野
正芳、大川健嗣、磯辺俊彦、吉沢四郎、松岡昌則、鳥越皓
之、米沢和彦、柿崎京一、徳野貞雄。

審議・報告事項

一、事務局から、以下の点について報告と提案があった。
①大会プログラム、②次期事務局候補として神戸大学（北原淳、藤
井勝）が上がっていること、③次期大会は北海道になること。

これらの点について了承された。

二、国際交流委員会から「国際農村社会学会」について報告があ
た。アジアの組織化が課題となっており、その準備組織とし
てAsian Rural Sociology Working Groupが結成され、鳥
越皓之会員がそのChairmanになったと報告された。そして
次のことが提案され、了承された。
①村研がこれらの国際機
関に対し、日本の農村社会学の組織的な意味での代表機関と
なること。
②それともない、右記Working Groupへの組
織委員推薦につき、国際交流委員の松田苑子会員が推挙され
た。
③韓国の農村社会学会から文献紹介の依頼があつた。
三、編集委員会からの報告と審議。以下の編集委員を補充したい
旨の提案があり、了承された。細谷昴、岩本由輝、鳥越皓之。
四、第五回に引き続き、大会に提出する「組織改革原案」につい
て審議した。